

外来受診前に新型コロナウイルス感染症疑い患者を選び分けるための 問診に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年3月4日～2021年12月31日

〔研究課題〕

発熱外来における新型コロナウイルス感染症疑い患者のスクリーニングのための問診内容の解析

〔研究目的〕

発熱外来に来られた患者様に、新型コロナウイルス感染症を疑う必要があるかないかを適切に判断する問診を作成することを目的としています。

〔研究意義〕

患者様と病院の職員の両者にとって、安全かつ効率的な発熱外来の診療が行えます。

〔対象・研究方法〕

発熱外来を受診し、新型コロナウイルス PCR で陽性となった方、陰性となった方に行った問診項目について、陽性・陰性を疑う項目として適当かを判定していきます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院で行われます。

〔個人情報の取り扱い〕

氏名や個人を特定する情報は研究では削除され、匿名化された情報で管理されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：北沢貴利

研究分担者：田村好古、田代晴子、若林義賢、村上沙綾、林智恵美、平野優美子

所属：帝京大学医学部内科学講座・看護部

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211（代表）〔内線 7645 〕